

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	災害復旧事業（備前）	コード	04-01-02-03	担当課係	農林振興課 耕地治山係
事業実施期間	平成17年度	担当者	鈴木 秀喜	電話	0869-64-1830
総合計画 事業（政策）体系	大項目	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり			
	中項目	豊かな食を支えるまちづくり			
	小項目	林業			
	施策	治山事業の推進			

事業について	
目的	集中豪雨等により被災した林道施設を早急に復旧し、森林の管理・保全のため、また生活道としての機能回復を図る。
対象 (誰のために)	林道利用者、森林所有者
内容	災害により被災した林道施設を原形復旧する。

事業の結果	17年度		
実施項目	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
災害復旧事業（単独）	1,163 m		
災害復旧事業（国庫補助）	20 m		

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	14,683	国庫補助金等	8,103	直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	2,220	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	16,903	市債	1,000	合計	0	市債	0

必要人員	0.30	人		人
結果指標名	災害復旧事業（単独）			
結果指標量	1,163			
単位	m			
対前年比	—		0.00%	
事業費	6,178,000	円		円
単位当たりコスト①	5,312	円		円

結果指標名	災害復旧事業（国庫補助）			
結果指標量	20			
単位	m			
対前年比	—		0.00%	
事業費	8,505,000	円		円
単位当たりコスト②	425,250	円		円

事業の成果			
成果指標名	復旧率	式又は説明	復旧箇所数 / 被災箇所数
	17年度		
成果指標量	100.00		
対前年比	—		0.00%
到達目標値	100	到達目標年度	

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	林道利用者の通行・安全を確保するため早急に復旧する必要がある。
	対象の妥当性	
	市民ニーズの妥当性	
効率性の評価	コストの効率化	国庫補助の対象事業については、災害復旧の設計基準等によりコスト削減の余地が少ないが、単独事業においては工法選択・現場条件によりコスト削減に勤める。
	手段の最適化	
	職場の効率化	
有効性の評価	目的達成度	国庫補助事業は、関係機関との協議・事務手続き等が必要となるため、速やかに事業着手できるようにしていく。
	成果向上の可能性	
	市民参画度	

総合評価		評価区分 <A~E> C
コメント	年度内に被災箇所の復旧が完了しましたが、林道利用者への影響を考えると少しでも早く復旧が出来るように、災害復旧事業について熟知するため研修等に参加していく必要がある。	

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合
翌年度 結果指標量①	結果指標量②
目標値	成果指標量

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
妥当性	災害復旧事業の研修参加	毎年	災害時の早期対応
効率性	災害復旧事業の研修参加	毎年	コスト削減
有効性	関係機関及びコンサル等との協議	毎年	早期完了

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。